

中学校数学 解答例

1	(1)	①	エ	②	ア	③	ケ	④	オ	⑤	ク	⑥	シ	各3点 ×6	
	(2)	⑦	的確			⑧	コンピュータ			⑨	具体物			各3点 ×6	
		⑩	データ			⑪	体験			⑫	関連				
(3)	(例) 証明に用いた前提や証明の根拠, 結論を整理するなどして証明を振り返り, 新たな性質を見いだす活動を取り入れることが大切である。													7点	
2	(1)	(例) 2つの度数分布多角形の位置が異なることは着目することはできていても, 420分以上の度数分布多角形が体力テストの合計点が高い傾向にあることを指摘するためには, 420分以上の度数分布多角形が420分未満の度数分布多角形よりも体力テストの合計点数の高い右側にあることを指摘する必要性があることを理解できていないと考えられる。													7点
	(2)	(例) データの分布の様子を捉え, 説明する場面を設定することが考えられる。例えば2つのデータの分布の特徴を, 相対度数を使った度数分布多角形を用いて捉え, 根拠を明確にして事柄が成り立つ理由を説明する活動を取り入れることが考えられる。													7点
3	(1)	$-a + 2$													6点
	(2)	最小値	$-\frac{1}{2}$				$x = -1, y = 0$							各3点 ×2	
	(3)	①	$-\frac{6}{7}$				②	$15\sqrt{13}$							各3点 ×2
	(4)	62													6点
	(5)	平均値	50				標準偏差	10							各3点 ×2
	(6)	$1 < a < 3$													6点
	(7)	(例) $n(n+1)(2n+1) = n(n+1)\{(n-1) + (n+2)\}$ $= (n-1)n(n+1) + n(n+1)(n+2)$ $(n-1)n(n+1), n(n+1)(n+2)$ は連続する3つの整数の積であるから6の倍数である。よって, その和も6の倍数であるから, $n(n+1)(2n+1)$ は6の倍数である。													7点